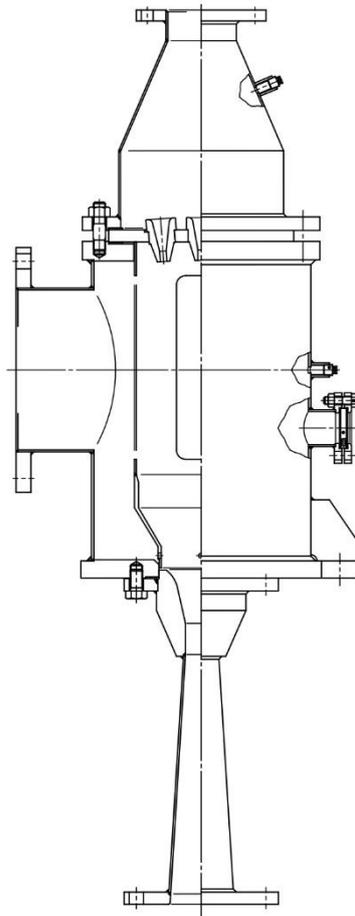
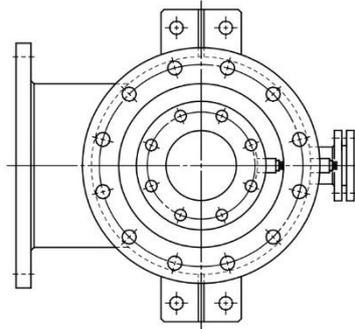


マルチゼットコンデンサ

MURTI-JET CONDENSERS



マルチゼットコンデンサ

MURTI-JET CONDENSERS

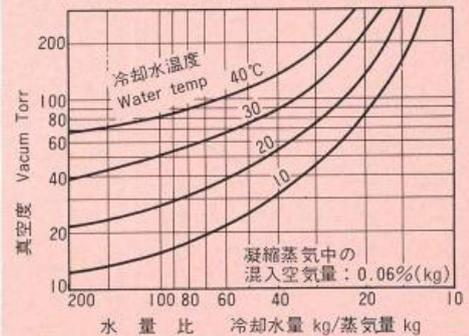
大気脚型



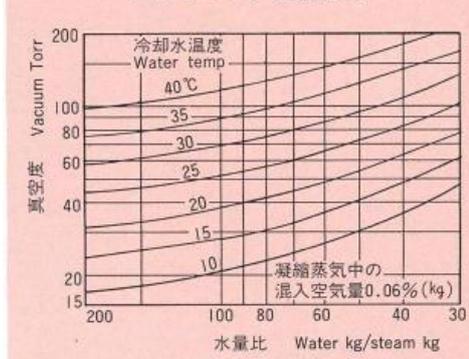
低水位型



大気脚型マルチゼット・コンデンサ性能表



低水位型マルチゼット・コンデンサ性能表



マルチゼットコンデンサは、複数のノズルから冷却水を噴射することにより発生する吸引力によってガスを吸引します。蒸気は、冷却水と接触することで冷却・凝縮され、非凝縮性ガスは噴流に巻き込まれ冷却水と共に排出されます。テールパイプの長さにより、大気脚型と低水位型に分類されます。

—大気脚型—

11m以上のテールパイプを必要としますが、大容量の蒸気を凝縮できる真空復水装置として使用されます。

しかし、非凝縮性ガスに対する排出能力は低いので、空気などの含有率が高い場合には適当ではありません。

冷却水の圧力は0.15~0.2MPaG程度必要とし、水温が低い程到達真空度は高くなります。大気脚以上のテールパイプを備えるため、停電時や誤操作などによる逆流現象はありません。

—低水位型—

テールパイプを大気脚より短くして使用できますが、冷却水の圧力は大気圧への排出で0.2MPaG以上必要とします。設計圧力に対して一定値以上低くなると逆流現象が発生するので、逆止弁を設置する必要があります。

据付高さに余裕がある場合は、できるだけ高所に設置することをお勧めします。

非凝縮性ガスの排出は、大気脚型とは異なり可能ですが、必要な水量は凝縮を目的とする場合と比較すると大巾に増加します。